



こんにちは

村田 けい子 です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2021.7.16
№310

議会全員協議会

感染対策は万全か！？ウガンダ共和国選手事前合宿 立科町國學院大學学生寮に滞在 7/15(木)～26(月)

7.13(火)

泉佐野市でウガンダ共和国選手と関係者に感染者が出たことをうけて、立科町は受け入れ予定日を延長し、新たな3項目の条件をウガンダ共和国オリンピック選手団に提示。その条件を満たしたうえで受け入れを15日に延期。その結果、2回接種前の1人と接種年齢に達しない選手1人は立科町には入らず、直接選手村に入村。合計で8人が入町。選手5名+コーチ3名。

【追加した3項目】

- ①新型コロナワクチンを2回接種及び有効性を確認できる14日後の入国。
- ②ウガンダ出発前7日間は、ウガンダ国内で毎日PCR検査を実施し、陰性証明を取得すること。出国日については出発時間までに結果が判明するよう検査を実施すること。
- ③ウガンダ国内において、選手団のこまめな手指消毒、徹底した行動管理、集会等を含め出発前に選手団が大勢の人と接触しないように配慮し空港へ。乗り継ぎの空港でも徹底した消毒、行動管理を。

【町のホストタウン事業=ウガンダ応援事業 の予定】

- ①受け入れ期間 7月1日 ➡ 7月15日～26日(27日選手村入村予定)
- ②立科町応援団派遣: 中止
- ③パブリックビューイングを自宅テレビでの応援[おうちでビューイング] 及びフェイスブック、ツイッターによるSNSでの応援に変更
- ④ウガンダ選手団結果報告会 8月8日(日)か9日(月)実施予定
国際交流推進協議会と選手団とのオンラインによる報告会
蓼科ケーブルビジョンで報告会を撮影し、後日町民へ周知する予定。

フェイスブック
@長野県立科町 #ウガンダ応援立科町

ツイッター
@Tateshina Town,
#ウガンダ応援立科町

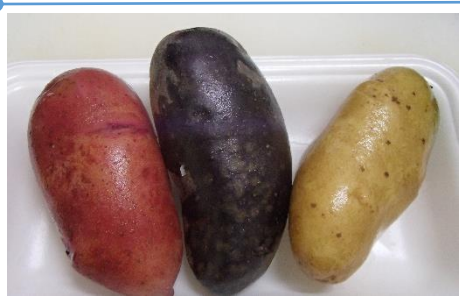
国民の反対世論をよそに、オリンピック開催に突き進む菅政権。すでに東京は感染第5波が始まり、今日(15日)も1,000人越えの陽性数。しかも4度目の緊急事態宣言発令中。「緊急事態宣言発令中のオリンピック開催は普通じゃない」。

(尾美委員長)報告後、まず最初に「私はオリンピック開催に反対。住民からも受け入れの中止を要請されました。」と伝えた上で、感染対策について質しました。

Q, 選手団を運ぶバスの運転手や国学院大学寮の管理人、出入り業者などの感染防止対策は？

A, バスを運転する職員はワクチン接種を優先。毎日、選手団や関係者はPCR検査する。費用は県の負担。管理人やリネンなどの出入り業者はウガンダの人と接触しない。との回答。

選手団の練習の様子をケーブルビジョンが遠くから撮影し、あとで報告、町民との接触はさせない状況を作る予定ということです。また同僚議員は、安全対策を地元住民にも発信するよう求めました。事前合宿受け入れを断念した自治体も多数あります。



3兄弟 ジャガイモ

今週のパチリ！

上の茎が乏(とぼ)れてきたので、「掘ってみるか」と収穫したのがコレ！ さっそくポテトチップスとそのまま茹でて塩味とバター風味でいただきました。左から、アンデスレッド、シャドークイーン、メイクイーン。色も赤・黒(中は紫)白とカラフル。いんげんも素揚げして、色鮮やかな一皿となりました。採りたてをいただく贅沢さ。農村の醍醐味です。

【ワクチン接種について】

1、現状

①65歳以上、対象者2,700人(7月13日現在)

1回目済 2.080人(77%),

2回目済 1.203人(45%)

②12~64歳 対象者3,800人...対象者全員に接種券は送付済み

2、予約開始のお知らせ通知送付スケジュール

・60~64歳 7月19日

・50~59歳 7月下旬

・40~49歳 8月上旬

(40歳以下の通知は未定...ワクチンの供給量不明のため)

3、接種体制の変更 ...ワクチン供給量の大幅な減少により、接種医療機関の大幅な見直し。

①7月から集団接種会場(一万里・プラザ)の日数、レーン数を増やす方向で、歯科医師・薬剤師会の協力を得る。8月上旬の集団接種はまだ空きがある。

②9月からは個別接種を見直し、47医療機関から8医療機関に。

立科町は柳沢・岩下医院はそのまま受け付け可。佐久市の6病院(日赤・浅間・佐久総合・黒沢病院など)

佐久地区市民と野党との共闘会議

7月17日(土)午後4時から佐久平交流センター「市民対話集会」に集まろう

佐久地区市民と野党との共闘会議が主催する「総選挙で政治を変えよう!市民対話集会」(17日)が迫りました。会場は第5会議室ですが、コロナ対応で90名位に制限。

立民の神津健(たけし)予定候補も参加します。お誘い合せて参加をお願いします。

「どうなる?私たちの足」 公共交通を考える 出前講座



7月21日(水)13:30~立科町中央公民館
公共交通について、町職員から説明をしてもらい 佐久市・東御市からの報告を予定。公共交通について住民の声を聴いてもらうチャンスです。ぜひ、ご参加ください。
車の送迎します。

☎090-9144-8534 村田まで

長野大学生50人、現地研修・講座 「観光まちづくり事業について」

農事法人 蓼科農ん喜村長(駅長)が、道の駅「女神の里たてしな」の積極経営について、長野大学環境ツーリズム学科の学生45人に対し、その努力・工夫を語りました。



まごころトイレを視察する学生

耕福館横のブルーベリー畑で新鮮なブルーベリーを夢中になって頬べる学生



7月14日付信毎に記事が掲載。ご覧になった方も多いたと思いますが、毎年、長野大学の学生を招き町をめぐってもらって観郷ウォークやこうした体験研修は、立科町を知り興味を持ってもらう大きな効果があると思います。

今後道の駅が「目的地」に位置づけられる「町の魅力発信拠点」の機能を強めることやほっとステイ事業再開に向けて活発に動き出していることが語られ、希望が持てるお話でした。

蓼科農ん喜村 青空市

7月18日(日)10:00~17:00
新鮮野菜・花・屋台・キッチンカーなど
出店多数予定

・抗体検査ブースでの検査体験ができます。
血液を自分で1適取って検査機に入れると8分で結果が出るそうです。



会場/蓼科園地・
野外音楽堂

森の小さなコンサート 8・1(日)10:00~

細谷大正琴 美音の会
フルート・ピアノアンサンブル
リコーダーアンサンブル
—お昼—
バンドSHINDENの風
シンガーソングライター 羅針